

平成 17 年度第 10 回（1 月）理事会議事録

◇日 時：平成 17 年 1 月 12 日（木）午後 6 時 38 分～8 時 50 分

◇会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所

◇出席者：森嶋、今井、辻、運天、吉本、高田、大垣、清水、竹浦、岡本、荒木、田畑、山内、井戸田、山田、北中、東野、田中

◇欠席者：高橋、出野

◇議 長：森嶋

討議内容

I. 行動報告（12 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 特記事項無し

2. 近臨技 開催日（12 月 14 日）

- ・ 後日報告

3. 事務局

総務部 部会開催（12 月 13 日）

庶務

- ・ 1 月理事会の開催準備を行った。
- ・ 社団法人設立 20 周年記念式典の開催準備を行った。

広報

- ・ 大臨技ニュース 1 月号の発行を行った。
- ・ ホームページの更新を行った。
- ・ 平成 18 年度事業・予算案について協議した。

会計

- ・ 11 月度収支計算書を作成した。
- ・ 18 年度予算書（案）を作成した。

渉外部 部会開催（12 月 20 日）

- ・ 1 月 21 日の大放技合同フォーラムの役割分担とタイムスケジュールを確認した。
- ・ 社団法人設立 20 周年記念式典の役割分担を確認した。

4. 事業局

情報組織部 部会開催（12 月 15 日）

- ・ 平成 18 年度事業の確認を行った。
- ・ 平成 17 年度事業の会計報告を行った。

地区事業部 部会開催（12 月 15 日）

- ・ 「会員交流会」事業の統括を行った。

学術部 部会開催（12 月 9 日）

- ・ 来年度の部門編成について報告した。
- ・ 11 月の大臨技フォーラムと近臨技学会の反省会を行った。

III. 他、報告

1. 府民健康フォーラムについて

12月19日に薬剤師会で反省会を行った。当会より会長、竹浦理事が参加した。今回好評であった為、来期、10月28日（土）14:00～16:30 大阪 YMCA 国際文化センター（500名収容可能）にて開催予定。広報として地下鉄の吊広告を予定している。300名程度の参加があった。検査技師会関連の参加者も多かった。

2. 大阪府地域医療推進委員会・署名運動について

12月9日に681名の署名を医師会へ送った。

3. 事務員労働保険について

原川事務員より申し出があり、11月より労災保険と雇用保険に入った。

3. その他

JICA 関連について

国際貢献専門委員会が5回開催され、西アフリカから来日（1月24日から2月7日）のスケジュール及び12名の構成メンバーの学歴等の紹介があった。2月4日に法人設立20周年記念式典へ参加されるので手配を行う。2月5日にJICA大阪で総括会議を行うので参加出来る方は参加する。

日臨技会長選挙について

小崎氏 9935票（村瀬氏 4973票）で当選した。無効票が2264票あり次回検討する。投票率が大阪府（16.8%）ワースト3であった。

学会関係について

臨床検査医学会と12月24日に協議会を開催した。最初は同時開催（滋賀・福井）、次に合同開催、次に合同学会とし合同学会を最終目標とする。協議会構成メンバーは日本臨床検査医学会近畿支部と近畿臨床検査技師会が中心となり日本衛生検査所協会近畿支部も参加する。学会に関して協議会で検討して行く。抄録等の統一の検討を行う。

IV. 議題

1. 法人設立20周年記念式典の進捗状況について

第4回実行委員会（1月10日）の議事録ののっとり進捗状況・当日配布用リーフレット・出席者の名札・当日運営マニュアル・会場との打合せ・年輪用の取材・次回委員会日程・JICA関連招待者等の説明があった。大阪府表彰名を「大阪府知事表彰」とする。（大阪市は確認を行う）名札は中止し花リボンとする。（大臨技関係者は白花中・近臨技関連、賛助会員は赤花中・スタッフはリボン・祝辞者、来賓は赤花の大きさを実行委員会で検討する）

2. 平成18年度事業計画案・予算案について

大臨技平成18年度予算案について増減等の説明があった。事業費等の変更の意見があり修正後、各理事へメールを送り確認する。

3. 総会運営スケジュールについて

大臨技及び日臨技総会の出席票と委任状の取扱いについて説明があった。（締切：3月4日必着）平成17年度第2回定期総会（平成18年3月25日開催）・平成18年度第1回定期総会（平成18年5月24日開催）案内状の説明があり了承された。議長・各委員候補リストの説明があり担当部署は候補者を総務部へ連絡する。平成17年度第2回定期総会タイムスケジュールについて説明があり担当者等の一部変更があり了承された。同時開催の施設連絡者会の案内説明があり了承された。2・3月号の大臨技ニュースへ掲載する。案内葉書の送付を検討する。

4. 協賛会員等からの研修会等の共催或いは後援依頼の取扱いについて

南大阪睡眠呼吸障害研究会からの依頼について経過説明があった。会員にとって生涯教育のメリットがあるとして、後援取扱いとする。

5. 事務員・原川氏定年に係わる諸運営について

原川氏が10月に定年となり退職金を支払う。定年後も継続採用、条件として5年契約・年収について1割カット・嘱託採用・職務内容の調査及び次期事務員引継ぎ等への協力・勤務状況を加味して雇用する。5年の間に職務内容を把握し次期事務員を育てる。嘱託規約を作成する。

6. その他

- ・大臨技ニュース3月号に掲載する平成18年度事業計画案を1月31日までにメールで送る。
- ・日本糖尿病療養指導士認定資格更新のための第1郡取得について、上部団体である日臨技へ大阪糖尿病患者教育研修会（ODES）を臨床検査技師の職種別研修会とする旨の推薦願の説明があり了承された。

以上